



私を初詣に連れてってっ！

Take Me Out to the New Year's visit to a Shinto shrine

私を初詣に連れてって！

「初詣に行った事がない？」

俺は「星野道人（ミチト）」。数日前まで、普通の高校生だったんだけど、ひょんなことから「ナイアル・オブ・パラダイス」っていう、アメリカの…南の方に誕生した、混沌の異世界に巻き込まれた。

「ああ、聞いたことはあるけどね。日本人は、あまり宗教に熱心じゃないっていうけど、初詣はみんな行くなんで変だな。」

彼女は「シャオロン・カーター（シャオロン）」。何でもニューヨークで、悪い権力者と戦う秘密組織に所属してて… その任務で異世界にやってきたとか。

「んー… 宗教っていうより文化っていうか… イベントみたいなものだよ。行く人と行かない人も半々くらいかな。」

俺と彼女は、この異世界に巻き込まれてから、嵐の夜にとある酒場で出会い、ここしばらく一緒に行動してる。最近は、ようやく生活にも慣れてきたってとこかな。

「初詣に行って何するんだ？」

「何って… お賽銭投げとお参りしたり、くじ引いたり、お守り買ったり…」

「連れてってくれ」

「え？」

「私を初詣に連れてって！」

～テキサス州 ダラス リトル・トーキョー～

テキサスは異世界に取り込まれた4つの地域のうちのひとつだ。西部劇とかNASAが有名。他の3つの地域と比べても、わりと現代的な地域かもしれない。

「アメリカの… しかも異世界に神社なんて無いと思ったけど、有るもんだなあ…」

テキサスのダラスは、昔ケネディ大統領が暗殺された場所って授業でやったっけ…。それ以外のことには全然知らないんだけど、どうやら日本からビジネスマン達が結構多くやってくる都市らしくて、彼らによって日本の東京のような「リトル・トーキョー」って地域が作られていた。

「横浜の中華街の、日本人版みたいなもんかな」

今日はまだ一月だ。(何年のかは知らない)

俺は先日シャオロンが初詣に行きたいと言ったので、色んな人にそれっぽい場所がないか聞き込みをして、リトル・トーキョーに「九頭竜神社」という場所があることを知った。

(ちなみに、インターネットはまるで役に立たなかった。最近は、ネットで調べれば何でも分かる！って思ってたことが、ことごとく覆されて、俺は何にも知らなかったんだなあ… ってことを、思い知らされるばかりだ)

「…遅いな」

シャオロンと約束した時間は正午だ。今は30分くらい過ぎたところ。

とはいえ、この時間なんて誰にも共通するものですら、インディアンのおっさんは前後一時間くらいは平気でずれるし、かと思えば貴族のお姉さんは30分前に来ていないと礼儀知らずだと言われる。

「異世界に着ても、意外と変わらんもんだね…」

そんなわけで、以前の生活と同様、暇つぶしになるスマホのソシャゲは、俺には欠かせないわけだ。

カッカッカ…

「悪い悪い、待たせたな！」

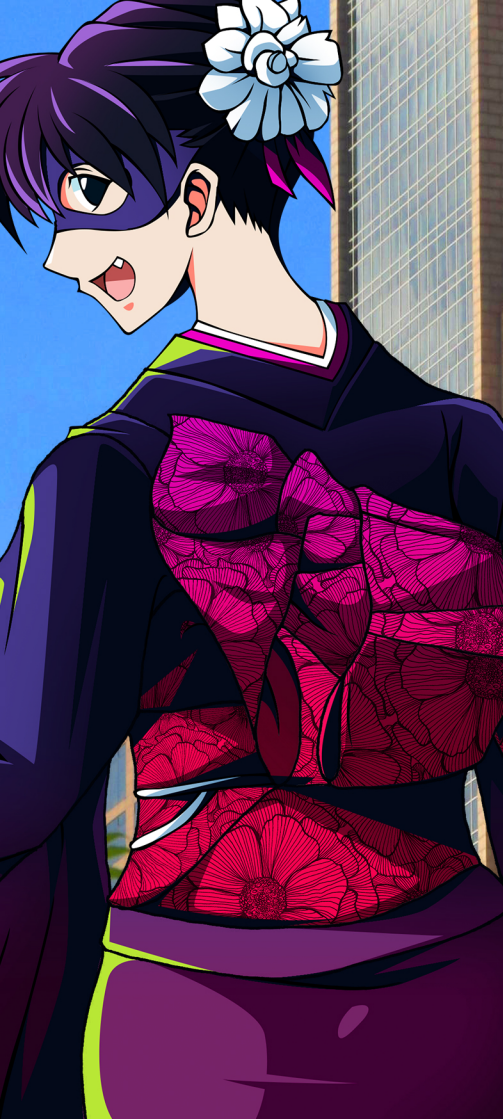
「別に、この世界に比べればどうってこと…」

(おっと…?)

ようやくやって来たシャオロンは、いつもと違う服だった。

いつもは、なんていうかこう、黒づくめのちょっとパンクなレザー系で、まさにバットマンみたいな、ダークヒーロー！みたいな格好してるんだけど。

「へへへー どうだどうだ？いいだろー！」



そう言いながら、クルクル
回ってみせる彼女は、鮮やかな
紫色の着物を着ていた。

「あ… うん、いいね」

なんて、間抜けな返事をして
しまった。いつもと違った華
やかな格好と、女の子らしさ
に驚いたのもあったけど…

「うん、すごく すごくいい」

それ以上に。久々に。

「なんだよ、語彙力が無い
なー。もっとこうかわいいと
か綺麗とか言ったほうが女の
子は喜ぶんだぞ！」

「悪い悪い。かわいいし綺麗
だよ」

「へへへー そうだろー？」

それ以上に。久々に“日本ら
しいもの”に出会って、感動
してしまった。

「? なに泣いてるんだよ」
「え!? あ!いや、なんだ
かすごく懐かしくなってさ」
「おー? そうかそうかミチト
も日本が恋しいかー。ほらほ
ら、甘えて良いぞ。んー?」
「なに言ってんだ。ほら、も
う30分も遅れてるんだから、
さっさと行くぞ!」
照れ隠しにシャオロンをおい
て、足早に歩き出す。

「待って! 待って!! この履
物歩きにくいんだよ! わつと
と…!!」

カラコロンと。

異世界の都市のアスファルト
にそんな音を響かせながら。
二人で九頭竜神社へ向かつ
た。

～九頭竜神社～

九頭竜神社といえば、箱根の縁結びで有名だ。

俺は前に何かの番組で、なんとなく知っていたので、ちょっとドキドキしながらシャオロンと神社に向かっていたが…

「なん… だ、こりゃ？」

そこには俺の知る「日本の神社」のイメージとはちょっと違い…

冷奴、痔、変態、働いたら負け、熱盛、冷やし中華始めました などなど

「初詣に来るのは初めてだけど、なんか間違ってるのは分かるぞ」

九頭竜神社は、何を祀ってる神社だったか…。旗や鳥居に書かれている文字はおろか、狛犬ボジに座っているであろう石像も、大阪で見たこと有るような金びかの置物が鎮座していたり、社務所？授与所？には、巫女さんではなく、忍者が受付をしていた。

本殿らしき建物からは、お経ではなく… 北島三郎の演歌が聞こえてくる。

「カオスだ…」

「まあ、混沌の異世界だしな」

「そうか、そうだな」

妙に納得してしまった。まあ、この世界では、わりと稀によくあることだ。うん、想像してたのとは違うけど、これはこれで日本の中規模都市の縁日に近い雰囲気はしなくもない… かな？

「ほら細かいことは気にするな！早く、手裏剣投げてお礼参りしようぜ！」

「お賽銭投げてお参りだよ！」

…っっても、この場所じゃ間違っていない気がするのは何故だ…

「やれやれ、この世界じゃ初詣すらも未知の探索だな…」

そんなため息をつきながら、並んで歩きつつ周囲を観察する。絵馬、提灯、旗、石像… 様々なものが目に入る。宗教には詳しくないが、おそらくメチャクチャだ。萌えキャラが描かれた絵馬もあれば、ド●えもん石像まである。その道に詳しい人が見たら、卒倒するか激怒しかねない。

…いや、あるいはこれこそが正しい姿なのかもしれない。自分の常識や価値観が、イコール日本の常識や価値観だと思っ込んでいただけで、本当はもっとグチャグチャでバラバラなのかもしれない。

…この世界のように。

「ツァトゥグア像があるな」
「え？つあとう？」

ふいにシャオロンが鋭い声で、俺の意識を引き戻す。彼女の視線の先には、なんだか熊のようなヒキガエルのような…黒ずんだ像が置かれている。

「ツァトゥグアだ。デイドリームでハイパーボリアのエイボンらしき人物が居るという噂が流れているのを耳にしたけど、どうやら本当かもしれない」

デイドリームとは、この混沌の異世界の4つの地域のうちの一つ、現実存在する夢と呼ばれているファンタジーのような地域だ。

そして、ハイパーボリア… エイボンとは…

「フフフ、覚悟しろよミチト。この初詣、君が知ってる初詣とは間違いなく一味違うぜ？」

この世界には、まだまだ… いや。
限りなく、俺が知らない何かに満ち溢れているようだ。



クトゥルフ神話 TRPG ヴァリエント・サプリメント
アメコミダークヒーロー ナイアル・アナキズム

製作 接続設定

<http://nyaranarchism.sakura.ne.jp/>

初詣のヒーロー
シャオロン・カーター



Illustrated by 接続設定

君が知ってる初詣とは
間違いなく一味違うぜ？

人種 グリンゴ

職業 ヒーロー

拠点 ルিজアナ/オールド・ポイント・パー

性格 完璧者/憤怒

クトゥルフ神話の邪悪なものどもと戦うダークヒーロー。日々、混沌の異世界で戦いや探索に明け暮れるが、ヒーローだって休みくらい必要だろう。アジア系でありつつも初詣を体験せずにアメリカで育った彼女は、探検者達に導かれ、共に初詣を体験することとなる。だが、彼女の言うように、この世界の初詣は一味違うのは間違いのないようだ。

参考作品

ナイアル・アナキズム

主な習得項目

戦闘技能、跳躍、追跡 など

イデオロギー/当身援護

同行時シナリオ中1回だけ、探索者のノックアウト攻撃を支援する。攻撃対象を抵抗表で競わせる際、ダメージの競わせる値のみを+5して競わせる。

混沌世界の初詣

踏破サブシナリオ

マクガフィン 初詣（お参り、くじ引き、授与品取得）

目的 初詣をする

障害 お参り、くじ引き、授与品取得

舞台 テキサス／リトル・トーキョー

導入

探索者の共通の友人である「シャオロン」は、初詣に行っていない。探索者達はリトル・トーキョーにあるらしい神社へ、彼女とともに初詣に行くことになる。

障害の導線と解決

どこで リトル・トーキョーの神社

なにを 初詣（お参り、くじ引き、授与品取得）

どうすべきか

リトル・トーキョーの神社で初詣を行う。神社名は適当に決めて構わない。

お参り

お参りする探索者は、「価値」のある手持ちの品物を、お賽銭として神社に捧げ、お願いを祈ることができる（捧げたお賽銭は報酬に反映される）

くじ引き

くじ引きをする探索者は、1D100をロールして、以下の出目に応じて＜幸運＞技能の値を増減させる。

1～10 大吉 <幸運>技能を+10%

11～20 中吉 <幸運>技能を+5%

21～40 小吉 <幸運>技能を+2%

41～70 吉 <幸運>技能を+1%

71～90 凶 <幸運>技能を-5%

91～99 大凶 <幸運>技能を-10%

+大凶のショックにより1／1D2の正気度喪失

授与品取得

授与品とはお守りなどのこと。神社の授与所では、本書P172の「呪物」が置かれ、通常より一段階低い「価値」で納めてもらう（買う）ことができる。（価値Dの品物は下がらない）



ちょっとしたトラブル

お参り、くじ引き、授与品取得を終えると、神社の広場で踊りのような儀式を行い、衆目を集める「マリー・ラヴォー」を目撃する。＜歴史>または＜オカルト>に成功すれば、その踊りはヴードゥーの神をなだめる儀式を神社という場に合わせ、神楽を模して行っていることが分かる。

しばし見ていると、マリーが奇妙に癒癒し、白目を向いて口から泡を吐き、周囲の人々や探索者に襲い掛かるという異常事態が起こる。

彼女を戦闘ラウンドで気絶させるか、＜組み付き＞に成功し、＜精神分析＞を行うことで、事態を収束できる（モンスターページ、平均的な人間参照）。

本人に聞か、＜オカルト＞に成功することで、ヴードゥーの神に対し、異なる宗教を取り込んで儀式を行ったことで、怒りがあったことがわかる。

報酬の導線と内容

初詣に付き合ってくれたお礼として「シャオロン」から報酬を貰うことができる。また、お参りでしたお願いが、捧げた品物の「価値」に応じて、叶えられる。KPはPLと相談して「お願い」の処理を決定すること。価値S・・・ほぼお願いどおり 価値A・・・願いの7割 価値B・・・願いの半分 価値C・・・願いの2～3割 価値D・・・なんか良いこと起こりそう（な気がする）

関連 NPC

- ・初詣のヒーロー シャオロン・カーター
- ・慕われしヴードゥーの司祭 マリー・ラヴォー